

活躍する卒業生

地域に根ざして

平成15年/大学・総合政策学部総合政策学科卒業
社団法人丸森町シルバー人材センター 勤務
戸 寛人

卒業してだいぶ経ちますね。あっという間にアラサーです。私にとって在学中、印象に残っているのはサークル活動です。中学から卓球を始め、大学でも思っていました。1期生ということで入学当初はサークルありませんでした。そんな中、学内でサークルを作ろうという動きがあり、すかさず卓球サークルを立ち上げるために手を挙げました。学生課の協力の下、仲間を集めて立ち上げることができたときは嬉しかったですね。チームの実力はともかく、ひとつの目標に向けて協力し合うことを学び、目標を達成することへのやりがいを知ることができました。この経験は、今も生かされていると確信できます。

現在は、丸森町のシルバー人材センターに勤務しています。60歳以上の高齢者が会員登録し、雇用とは違ったかたちで就業の機会を得られる市町村単位の組織です。シルバー人材センターには様々な職種の依頼がきます。その内容をよく理解し、作業をするのにふさわしい会員へ斡旋するのが私の仕事です。

事務的な仕事ですが、何よりも重要なのは人間関係です。小さな町の地域密着な仕事に携わっているため顔は知れ渡り、外出すれば数百人の目がどこかで私を捉えます。「仕事とプライベートは別」という考え方はここじゃ通用しません。田舎では、顔を会わせたら「あんだこの人？」がコミュニケーションの始まりのようです。それを理解してからはスムーズに仕事ができるようになりました。近所との交流が主な高齢者にとって、訛りの少ない言葉を使う他人は警戒されやすいのです。こちらから素性を表さないと警戒は解けません。仕事の話はそこからです。まさに「郷に入れば郷に従え」ですね。

最後に。同期生を始め、東北文化学園大学を卒業していった皆さん。様々な仕事に就き努力していると思います。これからは我々の世代が社会の中核を担っていくことになります。それぞれのフィールドで、より良い暮らしができるよう頑張りましょう！



●「活躍する卒業生」寄稿者募集●

本会では、本コーナーにご寄稿いただける卒業生を募集しております。在学中の思い出や近況を、形にしてみませんか？自薦、他薦は問いません。興味のある方は同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 東北文化学園大学同窓会事務局 電話/022-233-6194 (直通) メール/alumni@office.tbgu.ac.jp

和而不同

平成17年/大学・医療福祉学部保健福祉学科生活福祉専攻卒業
身体障害者療養施設 咨友園 勤務
熊谷 慎

「和而不同」、他者と和をなし、他者に流されない己をもつ。これは私が仕事をして行く上で常に考えていることです。

私は現在、学生時代に実習で世話になった福祉施設に勤務しています。実習中にこの福祉施設の生活支援に取り組む姿勢に大変感動し、福祉の現場で仕事をするのであればこの施設しかないと考えていました。学生時代から現在の職場で働きたいという気持ちが大変強く、就職活動では家族に心配をかけた記憶があります。念願叶い、実際に働いていく中で、実習中には見えなかった良いこと、もっと考えるべきことなど、本当に多くのことが見えてきました。その中で様々な事に迷いながらも、とにかく仕事に取り組んできた5年間でした。

人付き合いが大変下手な自分ではありますが、5年間働いてきた中で、他者と和をなすことの重要性を常々感じています。どんなに頑張っても、自分一人で考え、進めた仕事は何かしらの誤りや至らない点がでてくるもの。そんな時に先輩や同僚からのアドバイスでどんなに救われてきたことか、本当に感謝の気持ちでいっぱい。自分一人で仕事をするのではなく、チーム一丸となっていく仕事を成し遂げるということの重要性を感じています。

また、様々な先輩や同僚・後輩と仕事をしています。当然ながら尊敬できる人がいれば、仕事に対する意識が自分と異なる人もいたりします。日々仕事をして行く中で、人間関係で悩んでしまうことも多々あります。そんな時こそ、何の為に仕事をしているのか、本当に大切な事は何なのか、自分が行なうべき事は何なのかを考えて仕事に取り組んでいきたいです。

「和而不同」、他者と和をなすこと、協調性をもって仕事をしていくことを大切に、押れあいに流されることなく、信念をもって仕事に取り組んでいきたいと思っています。



学園近況



学園内に再生の燈火ともる

昨年度、看護学科の設置に伴う学園内施設の工事が行われた際、偶然にもその工事に本会会員である同窓生が携わっており、建物内電気設備工事に加え、本部棟前ロウタリーに建立されたナイチンゲール像の蠟燭灯設置工事も併せて施工しました。2010年に建立されたナイチンゲール像は、小さく温かみある蠟燭の灯火を左手に、毎日静かに学園を照らしています。

成長を続ける我が母校 東北文化学園大学

平成7年/短大・建築設備環境学科卒業
株式会社サンテック東北支社 勤務
酒井 幸紀

私は、東北科学技術短期大学 建築設備環境学科 第1期卒業生です。母校の工事(電気設備設計・施工管理)を施工協力させていただきました。

担当者とは綿密な打ち合わせを行いながら、近隣・学校関係者様からの無苦情及び無事故・無災害で工事竣工を迎えられたことを大変至極に存じます。

また、ナイチンゲール像の建立にあたり、蠟燭灯設置工事につきましては、完成後に母校(学園様)から「イメージした通りの物が出来上がり、有難う御座いました。」と仰っていただきました。このことは、今までの工事の達成感とは違い、母校から社会人として一人前に認めていただけたものと感激しました。

小生は、学生時代はあまり真面目に勉強に取り組んでいた方ではないですが、第1期生ということもあり、自分たちがこの学校の伝統を作って行こうと自負し、勉学・進路・学内行事・アルバイト等に励みました。学生時代に教授や先生及び友人と様々な話をしたことが発想力・計画性・人間関係の構築等、社会に出てから非常に有益だったと感じております。

私の好きな言葉に「努力」、「経験」、「気づき」があります。結果は大切ですが、それまでのプロセスを大事にすること(コソコソと努力する)。見ている人は、見てくれているのです。また、いろいろな経験を積むことが人間の感受性を豊かにし、高められていきます(何でも経験する)。気づきとは、何かを感じるとのことの大切さです。相手の人が何を考え、自分がどのように行動すれば良いのかを鍛練しています。リーマンブラザーズショック以降、日本経済は大変厳しい時代になり、政治も混乱に陥っておりますが、これからの日本の将来は我々各々の頑張りと元気がかかっております。

身体が一番大切ですので健康管理に留意して、お互い公私ともに一生懸命頑張りましょう。

最後になりますが、御指導・御鞭撻をいただきました教職員の方々、誠に有難う御座いました。これからも宜しくお願いいたします。



選出役員一覧

平成22年度同窓会総会において、以下の役員が選出されました。ここにご報告いたします。

なお、各卒業年から選出の幹事については、同窓会公式Webサイト (<http://www.tbgu-alumni.jp/about/member>) でご紹介しています。



役職	氏名	卒業年	卒業学科	役職	氏名	卒業年	卒業学科
会長	堀江 裕宗	平成15年	大学 応用情報工学科	理事	橋間 亮	平成16年	大学 総合政策学科
副会長	高橋 秀之	平成7年	短大 情報工学科	理事	一條 佑介	平成17年	大学 環境計画工学科
副会長	豊原 亮子(旧姓:高橋)	平成15年	大学 リハビリテーション学科(理学)	理事	木皿 吉彦	平成19年	大学 応用情報工学科
監事	佐瀬 正志	平成15年	大学 応用情報工学科	理事	角田 雅樹	平成19年	大学 応用情報工学科
理事*	臼田 美幸(旧姓:増子)	平成12年	短大 建設設備環境学科	理事	小林 圭太	平成20年	大学 保健福祉学科
理事	荒山 直子	平成15年	大学 保健福祉学科	理事	岩瀬 史義	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	大塚 由香	平成15年	大学 保健福祉学科	理事	高橋 美絵	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	佐々木 淑恵(旧姓:菅野)	平成15年	大学 保健福祉学科	理事	土谷 絵里子	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	熊田 健一	平成15年	大学 総合政策学科	理事	山田 淳司	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	羽田 孝幸	平成15年	大学 総合政策学科	理事*	鈴木 博人	平成22年	大学 リハビリテーション学科(理学)
理事	奥津 悠介	平成16年	大学 総合政策学科				

*臼田美幸理事、鈴木博人理事については、総会終了後に本人承諾があったため、会長が理事会の同意を得て追加選出しています